

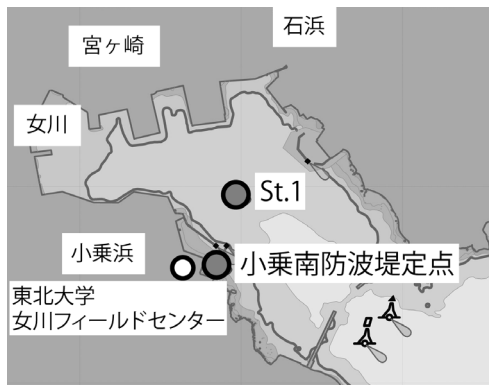
週刊 女川湾海況速報 (No.65)

発行：東北大学女川フィールドセンター

東北大学マリンサイエンス復興支援室

10 月 21 日から 25 日の小乗南防波堤定点と St.1 の海洋観測情報

観測点



小乗南防波堤定点の結果

①水温・塩分：先週と比較して全層で水温と塩分は下降し、それぞれ 16.6～19.0℃、25.1～32.8 の範囲にあった。経時的に表層（0m）の水温と塩分は 23 日まで下降し、そのあと上昇。底層（6m）ではともに 22 日と 24 日に一旦下降。鉛直的には期間を通じて水温逆転を維持。先週から今週にかけての塩分の下降は降水の影響と推定。水温逆転については海面冷却の影響と推定。

水深 [m]	10月21日 (月)	10月22日 (火)	10月23日 (水)	10月24日 (木)	10月25日 (金)
0	18.4 (28.4)	17.1 (27.2)	16.6 (25.1)	16.8 (27.9)	17.4 (27.9)
6	18.7 (32.2)	18.5 (31.7)	18.6 (31.8)	18.2 (31.2)	19.0 (32.8)

水温の単位は℃。*22日と24日は水深5mのデータを使用。

②濁度：先週と比較して全層で上昇。経時的には 21 日に各層で期間を通じての最大（表層：2.7FTU、底層：6.8FTU）を示し、そのあと徐々に下降。（単位は FTU）

水深 [m]	10月21日 (月)	10月22日 (火)	10月23日 (水)	10月24日 (木)	10月25日 (金)
0	2.7	2.0	1.6	1.1	1.2
6	6.8	5.4	3.6	2.7	2.2

③溶存酸素：先週と比較して全層で上昇し、6～8mg/l 台を示した。経時的には全層で 24 日まで 7～8mg/l 台で推移したあと 25 日に下降。底層での下降が特に顕著で、期間通じての最小（6.5mg/l）を示した。

水深 [m]	10月21日 (月)	10月22日 (火)	10月23日 (水)	10月24日 (木)	10月25日 (金)
0	7.9	7.9	8.0	8.0	7.7
6	7.3	7.4	7.2	7.6	6.5

単位は mg/l。水産用水基準（水産動植物が正常に生息および繁殖ができる値）：4.3mg/l 以上。

St.1 の結果

水温、塩分はそれぞれ 16.9～19.3℃、26.0～33.3 の範囲にあった。濁度は 1.1～4.5FTU の範囲にあり、底層（19m）で最大。溶存酸素は 5.1～8.0mg/l の範囲にあり、底層で最小。先週と比較して水深 15m 以深で酸素飽和度が低下し、底層では 68% を示した。

10 月 23 日

水深 [m]	水温 [℃]	塩分	濁度 [FTU]	溶存酸素 [mg/l]
0	16.9	26.0	1.7	8.0
5	18.3	31.4	1.2	7.8
10	18.8	32.4	1.3	7.2
15	19.2	33.0	1.1	6.9
19	19.3	33.3	4.5	5.1

本データの利用については、
東北大学マリンサイエンス復興支援室

Tel.: 022-717-8827

Fax: 022-717-8828

E-mail:

agr-marin@bureau.tohoku.ac.jp

までお問い合わせください。